



市政に緊張感を持って。最新の話題と議会報告をお届けします。

# あとべ 薫 かある Well-Being 通信

青葉区 仙台市議会議員【5期】 会派:せんだい自民・参政の会



皆様、いかがお過ごしですか。  
今夏に新たな任期がはじまり、  
引き続き議員を務めさせていただきます。  
常に皆様の声を伺いながら活動して参ります。

◎仙台市(各手続き・部署が分からない・困り事等)へのお問い合わせは  
仙台市総合コールセンター  
**杜の都 おしえてコール**  
**☎022-398-4894**  
平日:午前8時から午後8時まで  
土曜日・日曜日・祝日および年末年始  
(12月29日～1月3日)は午後5時まで  
(年中無休)  
日本語のほか、英語、中国語、韓国語、  
ベトナム語、ネパール語でも通じます。

## 1 仙台市議会について

令和5年仙台市議会第3回定例会は9月12日(火)から10月13日(金)まで開会し、2023年度補正予算など19件、2022年(令和4年)度一般会計決算など7件を認定し、意見書は6件を可決し閉会しました。我が会派は、今議会は昨年の決算であることから、昨年夏の職員ボーナスに係る源泉所得税の納付遅延による一般財源からの補填など、市長をはじめ、執行部の政治責任が果たされていないことから不認定といたしました。(共産党は異なる主張)。結果は、3会派17人が不認定としましたが、採決では賛成多数で認定となりました。次回の第4回定例会は、2023年12月6日(火)から21日(木)までの予定です。

## 2 仙台市の財政の現状

みんなの財政のミカタ  
令和5年度予算版から抜粋

### 財政の基礎知識

「会計」とは…家庭における「お財布」にあたるものです。収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布(会計)を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。「市税」とは…市の税金のことで、行政サービスにかかる費用をできる限り多くの市民に分担して頂いている「市民税」(個人の方に納めていただく「個人市民税」、市内の会社に納めていただく「法人市民税」と、市内に土地や家屋などを持っている方に、その価格をもとに算定された金額を納めていただく「固定資産税」などがあります。

**1兆1,891億円**

令和5年度仙台市予算の総額

3つのお財布

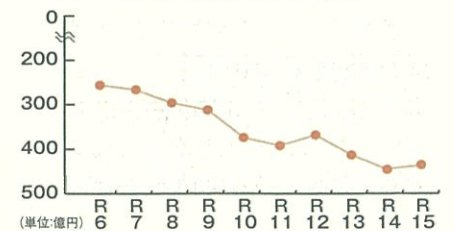


「一般会計」とは、福祉や教育、道路整備など市の基本的な事業を行う会計です。収入は市税を主な財源としています。

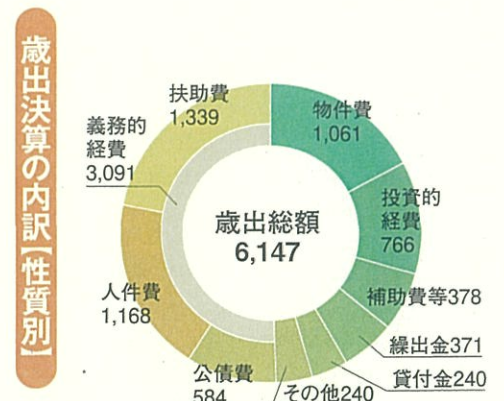
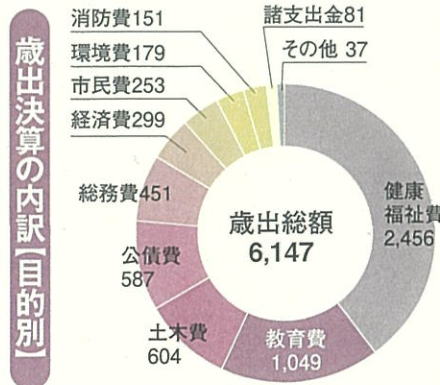
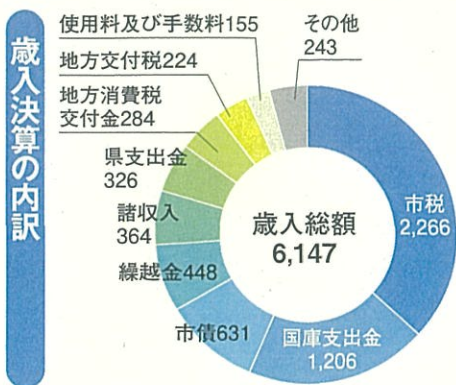
### 財政見通しについて

令和5年度の決算の歳入面は、主要一般財源は当初予算額から持ち直し収支差は約86億円程度改善する見通しです。また、令和6年度以降の歳入面では主要一般財源はほぼ横ばいとなる見通しです。歳出面では、本格的な少子高齢社会による社会保障関係経費や、市内の小中学校の老朽化、道路やトンネル等の老朽化など、公共施設の長寿化対策に要する経費、大規模事業の本格化に伴う建設工事費等が増加することに加え、昨今の物価高騰対策の経費が必要となる見込みです。この結果毎年の収支差は300億円から400億円を超え、令和6年度から令和15年度までの10年間の収支差は3,621億円前後となる大変厳しい見通しとなっています(下のグラフ参照)。本来ならこの財政状況について納税者である市民の皆さんに、もっと知って頂くことが必要です。

10年間の収支差(歳入-歳出)の推移



### 令和5年度 仙台市決算の概要 (単位:億円)





# 仙台市議会 議会報告



質疑と当局側からの回答の抜粋です。  
詳しくは仙台市議会ホームページなどからご確認ください。  
◎仙台市議会ホームページ  
<https://www.gikai.city.sendai.jp/>

2023.9.20 第3回定例会せんだい自民・参政の会 代表質疑

## 決算議会において 源泉所得税の納付遅延問題の結論を求める

(今議会は決算審査・令和4年4月～令和5年3月までの予算執行について審議しています)

我が会派は、市民の皆様からの声を伺い、市政の場で反映させることを活動の使命・目的としております。今議会は令和4年度の決算議会です。昨年夏の源泉所得税の納付遅れの件、数々の不適切事務に対する補填、充当費用の妥当性、責任の所在を明確にしなくてはなりません。一連の不祥事・事務ミス事案の結論を求めました。

第3回定例会の質疑の様子(2023年9月20日)

※背景画像は令和4年春 市政報告vol.74より



### 1 源泉所得税の 納付遅延をめぐる問題

#### 【過失責任の考え方】

今年の第1回定例会で示された「職員に重大な過失があったとまでは言えない」との判断に違和感を持つが、この判断はどなたがしたもののなのか？

答弁  
(一部抜粋)

関係職員の責任については、指導監督が十分でなかったこと、全庁の適正な事務執行の確保を管理すべき立場にありながら重大な事態を招いたことについて、決済を行った課長に加え、局長、次長、部長を懲戒処分としたところ。一方、賠償責任という点では、著しくその注意義務を怠ったという過失があったとまでは言えないとの市長の判断があったものです。 ※本文は上記記載QRなどで確認ください。

#### 【情報共有について】

同年の1月に生じた未納付案件により、宥恕規定※が受けられなかったとすれば、庁内で本来行うべき情報共有をしていなかったために、約5,000万円の血税を支払わなければならなかったことになる。この教訓を活かし情報共有を行うべきでは？

#### 【補填財源について】

全体として約5,600万円を補正予算としたが、不用額は毎年発生する。わざわざ予算計上(補填財源)ではないのでは？なぜ全庁挙げてとの説明に反する総務費に限定したのか？

### 2 不適切事務対策

次々と明らかになる不適切事務について全庁調査が実施されたが、あらたに平成30年1月から5年間で264件、計1,883万円余に上るミスが明らかになった。

あらたに納付漏れと過少徴取に伴う追加徴取について、納付分を除いた不足分1,361万円の税務署への立替と、本市が納めた不納付加算税、及び延滞税の89万円も含まれるがこれらも全て一般財源から充てられている。

そもそも補填財源・賠償金財源は存在しないので、他の予算からの充当、いわゆる流用がなされているが、本市では認められているのか？具体的にどの予算を流用したのか？

#### 【市民の声への回答と、市長の責任】

これまでもミス防止の対策を何度も示されたが、やった感を演出し、中身がないとすれば、おのずと残るのは失望だ。実効性のある対策を求める。

納税者である市民から一番関心が高い事案であり、今後、最高責任者である郡市長自らが政治責任を取られるおつもりはあるのか？お尋ねする。

※宥恕規定(ゆうじょきてい)

税法上の宥恕規定=宥恕措置とは、やむを得ない事情により本来の期限や要件を満たせなかった場合、救済や免除を受けることができる措置。

### その他の 代表質疑

3. 健全化判断指標の算定誤り
4. 補正予算、入札案件
5. 補正予算、介護保険・地域包括支援センター

6. 「仙台子ども財団」の設立と出生数の激減対策
7. 補正予算 教育関連(蒲町中学校関連予算)





2023.9.27 決算審査特別委員会・第3分科会【環境費】



### 決算年度における家庭ごみ収集の取り組み

1. 仙台市一般廃棄物処理基本計画の概要と現行計画の期間等
2. 「持続可能な資源循環社会」とはどのような社会なのか。数値目標は？
3. 家庭ゴミの有料化を導入した経緯、狙い、評価
4. 平成23年の東日本大震災の災害ゴミの分別の経緯
5. 「ワケル君」と家族について
6. 住民から寄せられている苦情
7. ゴミ集積所の課題、カラス・鳥獣対策
8. 本市の年代によるゴミ出し分別への周知方法の現状
9. 高齢者、お一人暮らしの住民に対する周知啓発活動
10. 4月からプラゴミの資源回収の新ルールについて
11. 今後のゴミ減量についての方向性



2023.10.2 令和5年度第3回定例会決算審査特別委員会・第3分科会



### 決算年度の水道事業についての質問

1. 内部統制制度での不適切事案。公表を見送った理由
2. 「宮城県 上工下水一体 官民連携運営事業・みやぎ型管理運営方式」の現在の運営状況
3. 管路の老朽化対策
4. AI技術を活用した管路の安全性や更新
5. 災害対応①水道管の凍結
6. 災害対応②地震対策・台風や集中豪雨
7. 持続可能な経営基盤の確保
8. 経営基盤確保、国の繰出基準に基づく一般会計から公営企業への繰出金

Atobe's Column

## アトベコラム



### 子育て環境を考える ～地元紙への投稿欄より～

先日地元紙の読者欄を見て驚きました。7月の30度を超えたある猛暑日の夕方、仙台市営バスの車内で、泣く子を連れた母親が高齢男性に「うるさい」と怒鳴られた出来事がありました。車内は座席がない状態で、乗客も運転手も無関心を装い、母親が子どもを連れ途中下車したというものです。この投稿には、筆者は母親が何か悪いことをしたのか。その場で何ができたのか。男性には寛容な心がなかったのかの問いで締めくくられておりました。

この投稿に他の読者から、「同じ経験をしたことある」と自らの経験に関する声や、「なぜ怒鳴るのか」「育児は母親がするものという偏見

がある」との高齢男性に対する声、事業者や運転手に善処を求める声、その他、母親に対する励ましや、共感の声が寄せられたという。

私はこの記事から、教科書に取り上げられている「バスと赤ちゃん」を思い出しました。道徳の教科書には同じような出来事について、それぞれ児童、生徒に対応を考えさせることを目的に取り上げられています。

少子化が進み、多様性が叫ばれる現代、国や自治体は子育て支援策などに懸命に取り組んでいます。しかしいくら制度やハード面を充実させても、ソフト面である子育てに対する寛容な社会を目指し、その負担を少しでも和らげることが求められるとあらためて痛感した内容でした。

### 全国で幼児期の学びと環境が、その後の成長にどのように影響するのか追跡調査がはじまります。

文部科学省は今年度から、幼児期の学びや環境が、将来の学力や年収にどのように影響するのかを、長期にわたり追跡調査を実施します。

この調査の内容は、文科省から委託を受けた東京大学が、就学前の5歳児15,000人を全国の自治体から無作為に抽出して5年間の追跡調査を行い、幼児期の環境や体験、学びがその後の認知能力や非認知能力等に与える影響を分析したいとしています。その結果、質の高い幼児教育を科学的に明らかにし、小学校の学習指導要領や幼稚園教育要領、保育所保育指針に反映させることを目的としています。

同様の調査は、1960年代にアメリカのミシガン州の幼稚園で行われた、「ペリー-就学前プロジェクト」があり、OECD各国の幼児教育投資のエビデンスとして有名です。かつての調査は120名程度で、今回

の調査ははるかに多い調査対象です。

「非認知能力」とは学力（認知能力）と対照的に用いられ、意欲、協調性、我慢する心、創造性、コミュニケーション能力など測定できない個人の特性による能力のこと全般を指します。

私は、幼児期における「非認知能力」を高めるため、成長に合わせた子どもの学び、育ちを図りたい、そのための環境整備、幼児教育の振興に広く取り組みたいと考えております。

2023年11月  
東京・国会にて文部科学省の担当者にヒアリングを実施しました。





活動報告

2023年9月・10月  
この秋、4年ぶりとなる運動会が  
各地で開催されました。



地元幼稚園の運動会の様子。コロナ禍をものともせず、元気で賑やかな子ども達の声が響いておりました。



北仙台地区の運動会の様子



桜ヶ丘地区の運動会の様子

2023年10月 各地の防災訓練の様子



北仙台地区防災訓練(写真下)  
この訓練は指定避難所となる北小・北中の避難所運営について、住民の関りを強めるために行いました。この地区は指定避難所が2か所に分かれ、同時に開設する難しさを学ぶ内容となりました。

桜ヶ丘学区防災訓練(写真上)

町内会住民の防災知識の向上と共助の取り組みを進める狙いで、町内会毎の住民がグループに分かれ、5つの種目を巡りました。住民それぞれの防災力と、災害知識の促進が目的でした。



2023年10月  
単位町内会の秋祭りが4年ぶりに開催されました。この町内会では、フレイル予防や防災備蓄を呼びかけるコーナー、トスケや魚釣りゲーム等の世代間交流を中心に行われていました。



2023年10月  
オータム・ジャズガーデンフェスタの様です。在仙のジャズ愛好者が長年にわたり開催してきた「NYジャズガーデン」の特別企画として開催されました。地元へ受け入れたウクライナ人や大学生、留学生も招かれ、素晴らしい秋のひと時になりました。



2023年10月  
仙台市私立幼稚園連合会及びPTA連合会の主催による、「教育振興大会」と「PTA研修大会」が開催されました。今回の講師は取材漫画家の井上キミドリさんをお迎えし、『震災を知らない子どもたちにどう伝えるか?』～漫画で伝えるということ～と題した講演でした。漫画の特性を生かした震災からの復興の伝え方について、考える貴重な講演となりました。

2023年10月  
桜ヶ丘文化祭にて。地域では様々な行事が戻っております。楽しい表現の場として秋の「文化祭」、秋祭り等盛んに開催されております。



宇都宮市  
宇都宮市内中心部を走る「LRT芳賀・宇都宮ライトライン」を現地視察しました。仙台市でも敬老乗車証の見直しをはじめ、持続可能な市民の足として、課題をいかに解決できるのか注目しています。



高崎市はスポーツによる魅力的なまちづくりを目指して取り組んでおり、ソフトボール場を視察しました。この建物は、初めてのスタンド観覧席を備えたソフトボール専用球場で、高崎市は日本代表選手を輩出する女子ソフトボールチームがある都市です。

2023年10月  
宇都宮市・高崎市・前橋市を視察しました。

高崎市



ソフトボール場に隣接する敷地に7月にオープンした、「清水善造メモリアルコート」。このテニスコートは地元出身の歴史的テニス選手・清水善造の名を冠したもので、21面、収容人数約1,000人。クラブハウスも視察しました。

前橋市



前橋市中心部の再生事業「まちなか」の、公民連携による再開発の実情を現地調査しました。幅広い世代の市民によるアート活用した再開発と暮らしの拠点としての取り組みの現状を視察しました。

仙台市議会議員 跡部 薫(あとべ かおる) 仙台市議会 会派「せんだい自民・参政の会」会長

- 防災士 ●みやぎ障害者陸上競技協会会長 ●仙台市私立幼稚園PTA連合会会長
- 北仙台地区連合町内会顧問 ●中山学区連合町内会顧問 ●桜ヶ丘学区連合町内会顧問 ●荒巻地区町内会連合会顧問
- 北仙台中学校区地域教育協議会副会長 ●桜丘中学校区青少年健全育成連絡協議会顧問
- 双葉ヶ丘地区防犯協会実働隊員 ●荒巻マイスクール児童館第三者委員

昭和39年仙台市青葉区生まれ 東北学院榴ヶ岡高校卒業、東北学院大学法学部卒、東北福祉大学大学院修了

会派/せんだい自民・参政の会  
TEL.022-214-8644

あとべ薫 | 仙台市青葉区双葉ヶ丘1-30-22  
事務所 | TEL.022-728-8588  
URL | atobe-kaoru.com  
E-mail | info@atobe-kaoru.com